

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阪和工材株式会社 小野工場 新築	階数	地上2F
建設地	兵庫県小野市匠台3番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	14人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,808時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年8月5日
敷地面積	43,786 m ²	作成者	吉村 章伸
建築面積	8,002 m ²	確認日	
延床面積	8,215 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE-建築(2016年版) 全国版による評価である。		その他 阪和工材株式会社は、ステンレス等の鋼材の調達、在庫・流通、加工の専門商社であり、小野工場でも上記の鋼材を加工します。
Q1 室内環境 事務所において、平均照度747.10lxになるように設計し、居室の窓は、自然採光・自然換気で基準法を満たせるように設計する事で、業務に快適な昼光環境や換気計画の形成に配慮した。	Q2 サービス性能 外壁仕上には、防汚性に優れた仕上げ材を使用した。また、工場エリアにおいて、階高は14.1m、壁長さ比率は0.03とし、空間に余裕を持たせた。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木を残し、外構緑化指数38%になるよう緑地を確保し、良好な環境を形成した。また、敷地の81.9%分の空地を確保し、風の通り道の確保と暑熱環境の緩和に配慮した。
LR1 エネルギー 事務所部分において、BPI _m =0.74, BEI _m =0.68になるように建築物や設備の設計をした。(工場部分は全て生産工場となるため対象外)	LR2 資源・マテリアル 節水の為、建築物内の大便器およびタンクは組み合わせで節水ができるものを採用した。空調の冷媒においては、ODP=0でオゾン層破壊の心配がなく、GWPも比較的小さい冷媒R32を使用した。	LR3 敷地外環境 夏季の卓越風向に面する建築物の見付面積比を30%に抑え、隣棟間隔指数を6.46とし、敷地を通った風が回復しやすいようにした。また、十分な量の駐車スペース(荷捌き用含む)を確保し、敷地周辺の交通負荷の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される